

解放文化祭記念講演者

回	西暦	年号	講 師	演 題
1	1974	昭和 49	森 田 益 子	差別と闘いぬいた生きざま
2	1975	50	大 賀 正 行	同和問題解決の行く手をさえぎるもの
3	1976	51	丸 岡 忠 雄	私の歩いた道とこれからの課題
4	1977	52	西 口 敏 夫	人間解放を叫び続けて
5	1978	53	村 越 末 男	親鸞の教えと同和問題について
6	1979	54	福 地 幸 造	部落解放と教育の課題
7	1980	55	谷 内 義 輝	//
8	1981	56	林 力	//
9	1982	57	山 中 多 美 男	部落解放と地域住民の課題
10	1983	58	門 田 秀 夫	環境改善の進む中での住民課題
11	1984	59	小 林 初 枝	おんな三代の解放への取り組み
12	1985	60	金 城 実	文化と差別
13	1986	61	大 谷 昭 宏	開け心が窓ならば
14	1987	62	半 田 久 米 夫	暮らしの中の人権
15	1988	63	江 嶋 修 作	ひとりしく生きる
16	1989	平成 元	大 川 恵 美 子	私の歩んだ道
17	1990	2	寺 澤 亮 一	差別を許さない人間連帯をめざして
18	1991	3	松 崎 一	豊かな心田を耕す
19	1992	4	露 の 新 治	新ちゃんの人権高座
20	1993	5	レッゴー正児	人がいて温もりがあって人がいて
21	1994	6	海 原 小 浜	人の思いやりこそ、わが人生
22	1995	7	桑 原 征 平	世界のなかにおける日本人の人権感覚
23	1996	8	増 田 れ い 子	暮らしの中で人権を考える
24	1997	9	平 野 一 郎	人権の世紀へ向けて
25	1998	10	島 村 一 夫	やさしくなろうコンサート 心の青空がみえるまで
26	1999	11	鄭 承 博	一視同仁(笑いの中の怒り)
27	2000	12	高 野 雅 夫	武器になる文字とコトバを
28	2001	13	組 坂 繁 之	「人権の21世紀」をめざして一部落解放運動の現状と課題ー
29	2002	14	友 永 健 三	今なぜ 人権なのか
30	2003	15	畠 中 洋 行	「私と同和問題との出会い」

人権文化祭記念講演者

回	西暦	年号	講師	演題	
31	2004	平成	16	笑福亭松枝	みんな違う顔、でも同じハート
32	2005		17	虎井まさ衛	性同一性障害から見えてくるもの
33	2006		18	田畑重志	部落問題と人権問題
34	2007		19	川口泰司	差別っていったいなんやねん？
35	2008		20	奥田均	見なされる差別－差別意識のからカラクリを考える
36	2009		21	河野義行	報道と人権
37	2010		22	川村妙慶	今より豊かに生きるために～ところをみつめる
38	2011		23	久郷ボンナレット	世界には生きるために命をかける子どもたちがいる
39	2012		24	林家花丸	差別－壊れた心のメガネ
40	2013		25	組坂繁之	よき日をめざして
41	2014		26	北口末広	差別をなくす社会システムを創造するために
42	2015		27	宮前千雅子	差別のない社会づくりに向けて～同対審答申から50年
43	2016		28	神田香織	「原発事故から差別を考える－『チェルノブイリの祈り』を語り続け 今、ふるさと福島は－」